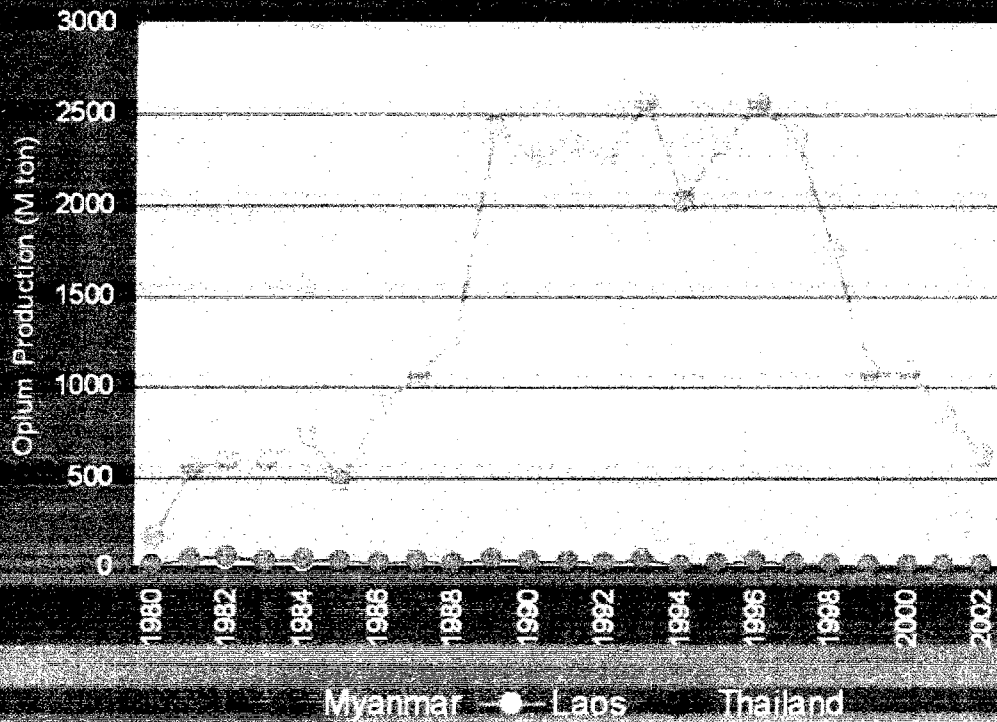


アヘン生産の推移



(出典: National Narcotic Intelligence Committee, International Narcotics Control Strategy Report (2002))

ケシ栽培の分布 (2002)とソバ栽培支援地域*



引用: UNODC Opium Survey Report 2002

プロジェクト対象地域(2)



プロジェクト開始当初

対象地域は武装少数民族グループの統括地
ミャンマー政府は2次的な統括

反政府軍: Insurgent Group

MNDAA (Myanmar National Democratic Alliance Army / Kokang)

MDA* (Mongkoe Defense Army / Mongkoe)

KDA (Kachin Defense Army / Khaungkha)

KIA (Kachin Independence Army / Kutkai)

反-反政府軍(自警団): Militia

Tamonye

Pansay

Kyaukse (Palawng Pearse Group)

Mongpaat* / Pongsaai / Mongbaw*



プロジェクト対象地域(3)

対象地域には多様な民族が居留しており、それぞれ独自の生活文化、言語を有している。すべてに共通する言語は無い。最大公約数的に使用されているのは中国語。

- ・ シャン族 : タイ系、仏教、プロジェクト対象地域に広く分布する
- ・ パラウン族 : タイ系、山岳民族、仏教、プロジェクト対象地域に広く分布
- ・ コーガン族 : 中国系民族
- ・ 中国系移住者 : 元国民党、雲南省等からの移住等
- ・ カチン族 : チベット系、山岳民族、キリスト教
- ・ リショー族 : 山岳民族、キリスト教
- ・ ミャオ族 : 山岳民族
- ・ コロリショー族 : リショー族とは異なる。中国文化を多く取り入れている。
- ・ その他、ワ、ラフ、ビルマ族



国境山岳地帯の特徴

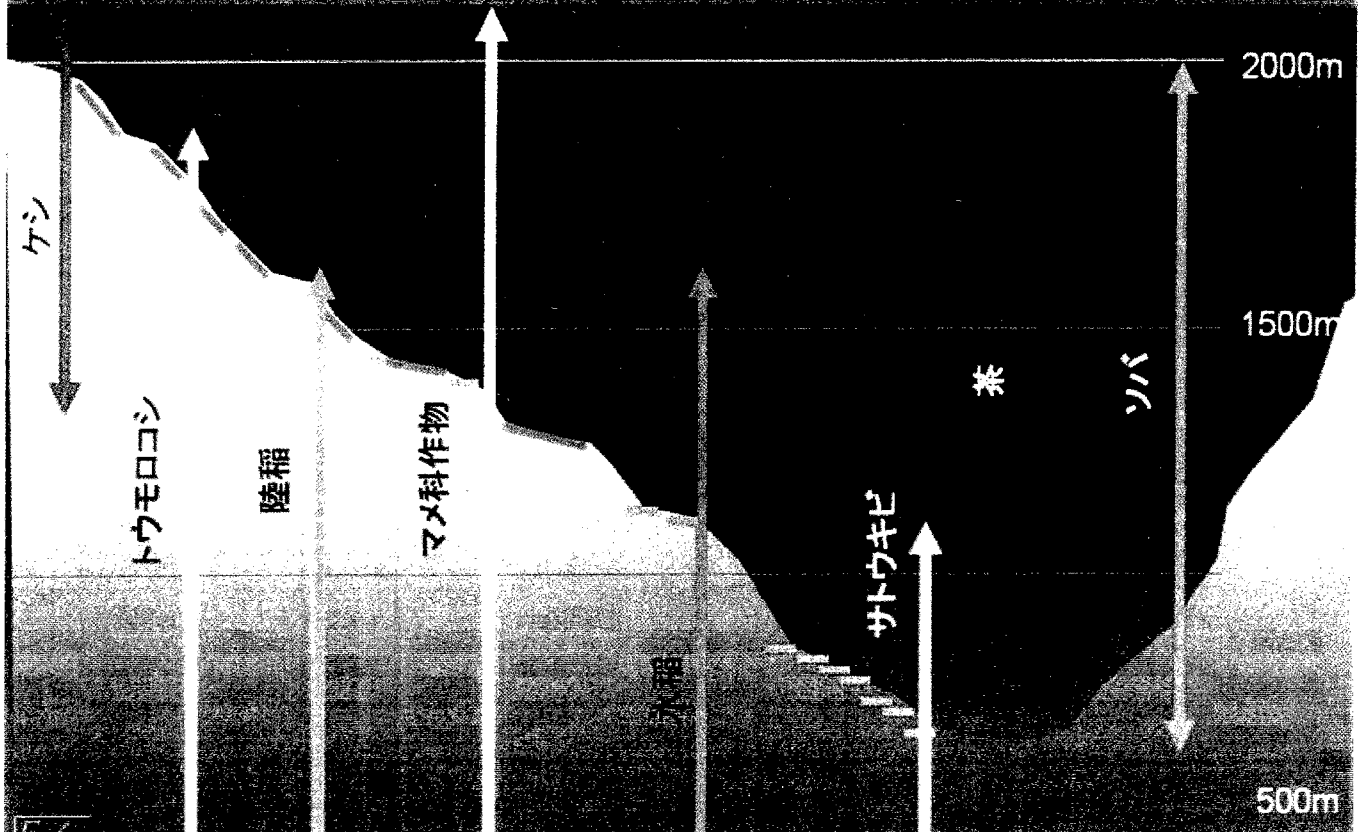
- アクセスが悪い山岳地帯
- 小規模・傾斜地
- インフラ設備が未整備
- 多様・多言語少数民族文化圏
- 二重の統治システム
- 開発思想は中国の影響が大きい



北シヤン州における主要代替作物支援

水稲	水源、1500m以下	自給
トウモロコシ	広範囲にて栽培	自給
陸稲	1500m以下	自給
マメ科作物	広範囲にて栽培	自給
サウキビ	プロジェクト、低地のみ	中国換金
茶	農民、企業家による	国内換金
ソバ	プロジェクト、広範囲	日本換金
果樹	市場性は未確定	?

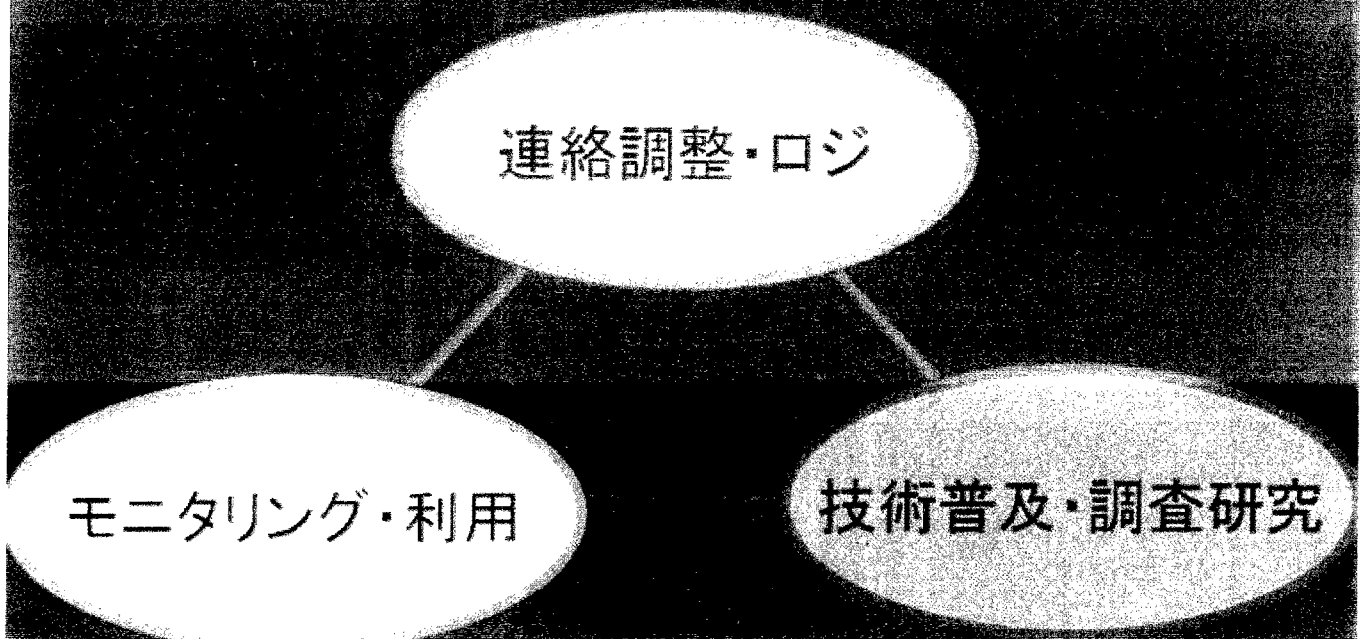
ケシ栽培地帯の作物垂直分布



代替作物(換金作物*)に求められる条件

- 環境適応性が広い(気象、標高、土壌)
- 技術的に容易もしくは既存の作物
- 低投入にて栽培可能
- 市場が確保されている(安定)*
- 輸送が比較的容易*
- 既存の作付体系に組み込みやすい

プロジェクト業務及び専門家

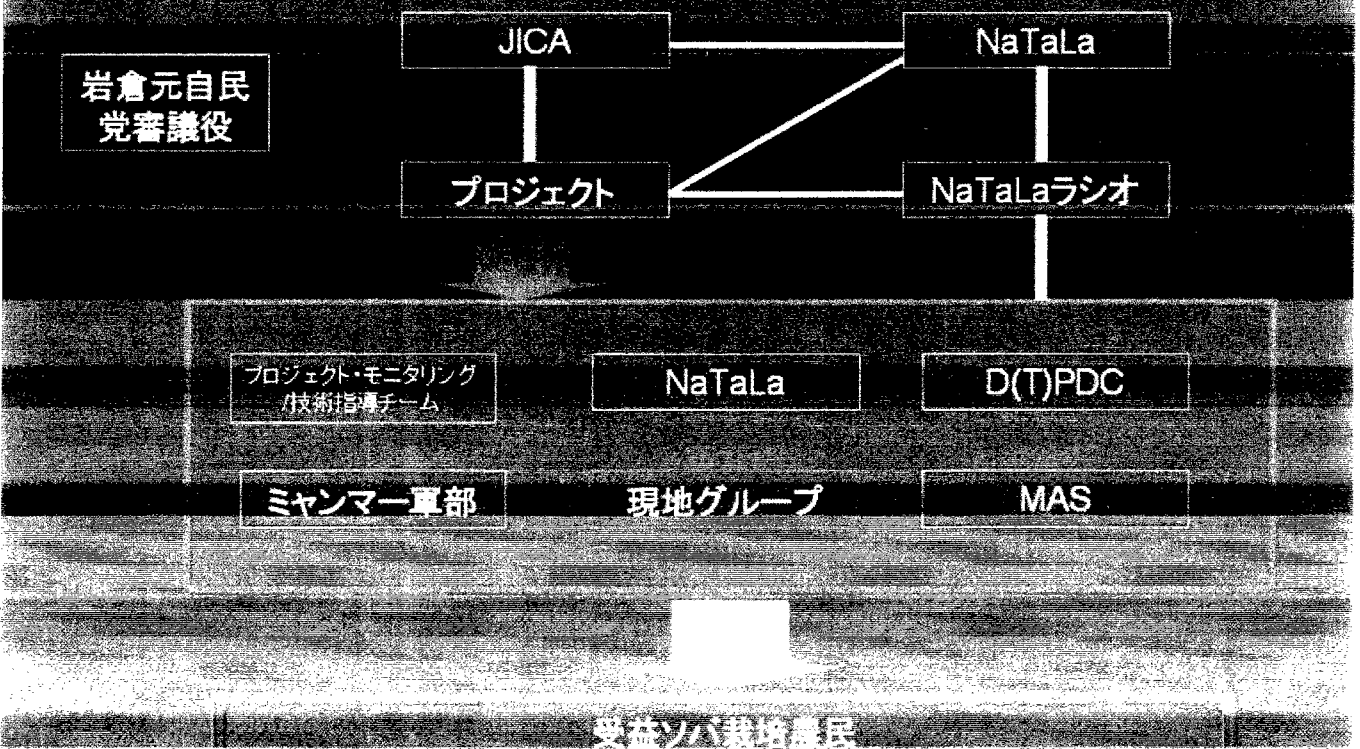


ムセ地域モニタリング・技術指導

コーカン地域モニタリング・技術指導

チャウメ地域モニタリング・技術指導

プロジェクト組織



岩倉元自民
党審議役

プロジェクト・モニタリング
技術指導チーム

ミャンマー軍部

NaTaLa

現地グループ

D(T)PDC

MAS

受益者

実施年間サイクル



ソバプロジェクト活動現場(現場巡回指導)



プロジェクトモニタリング

専門家、技術員がチームを作り、
現地関係者と共にモニタリング、現
場での技術指導を行っている

ソバプロジェクト活動現場(技術訓練)



技術訓練は講義、実習タイプ
講義には視聴覚機器とパソコンを持ち込んでいる。

ソバプロジェクト活動現場(試験研究)



ラシオ、ラオカイでは試験研究が行われている。

雨季前栽培試験、収量向上のための施肥反応試験・播種期反応試験、種子品質向上のための適正収穫期を検討するための試験等が実施されている。

